

財政収支(1-10月)

(1) 1-10月の歳入は前年同期比75.1%増、税収は同70.4%増。歳出は前年同期比79.4%増。
 (2) 結果として1-10月の財政収支は12,602.89億リラの赤字(前年同期比107.3%増)、プライマリーバランスは2,113.85億リラの赤字(同200.3%増)。

データ:財務省 単位:億リラ

歳入・歳出内訳	2023年1-10月(A)	2024年1-10月(B)	増加率 ((B-A)/A)
歳入(a)	39,137.33	68,538.26	75.1%
税収	33,914.61	57,776.63	70.4%
所得税	5,345.94	11,762.83	120.0%
法人税	5,004.27	6,852.37	36.9%
付加価値税(国内及び輸入)	11,518.07	18,887.94	64.0%
特別消費税	7,089.49	11,378.35	60.5%
その他税収	4,956.84	8,895.14	79.5%
税外収入等	5,222.72	10,761.63	106.1%
歳出(b)	45,217.96	81,141.15	79.4%
人件費	10,964.89	22,483.11	105.0%
物品及びサービスの購入	3,223.68	5,175.68	60.6%
経常移転	18,267.52	30,905.22	69.2%
資本支出	2,964.87	6,367.51	114.8%
支払利子(c)	5,376.74	10,489.05	95.1%
その他歳出	4,420.26	5,720.58	29.4%
財政収支(a-b)	▲ 6,080.63	▲ 12,602.89	▲ 107.3%
基礎的財政収支(a-(b-c))	▲ 703.89	▲ 2,113.85	▲ 200.3%

経常収支(1-9月)

(1) 1-9月の経常収支は、52.71億ドルの赤字(前年同期は361.22億ドルの赤字)。
 (2) 1-9月の貿易収支(物品)は414.70億ドルの赤字で前年同期から赤字幅減少、旅行収支は377.63億ドルの黒字で前年同期から黒字幅拡大。

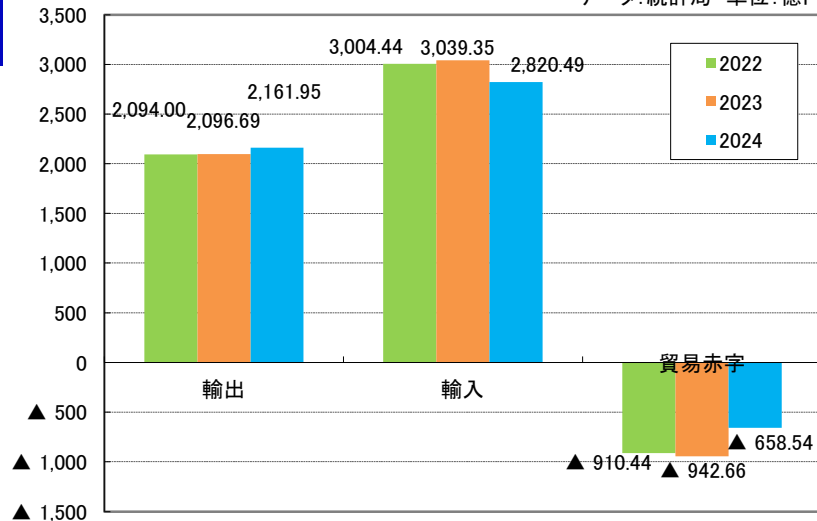
データ:中央銀行 単位:億ドル

内訳	2023年1-9月(A)	2024年1-9月(B)	増加率 ((B-A)/A)
経常収支	▲ 361.22	▲ 52.71	85.4%
貿易収支(物品)	▲ 723.30	▲ 414.70	42.7%
サービス収支	445.58	477.18	7.1%
旅行収支	333.38	377.63	13.3%
第1次所得収支	▲ 88.32	▲ 115.21	▲ 30.4%
第2次所得収支	4.82	0.02	▲ 99.6%
労働者送金	1.75	0.86	▲ 50.9%
資本移転等収支	▲ 1.67	▲ 1.11	33.5%
金融収支	▲ 446.02	▲ 261.05	41.5%
直接投資	▲ 27.72	▲ 34.43	▲ 24.2%
証券投資	▲ 17.38	▲ 155.68	▲ 795.7%
その他投資	▲ 291.34	▲ 29.56	89.9%
外貨準備	▲ 109.58	▲ 41.38	62.2%
誤差脱漏	▲ 83.13	▲ 207.23	▲ 149.3%

貿易収支(1-10月)

(1) 1-10月の輸出額は2,161.95億ドル(前年同期比3.1%増)、輸入額は2,820.49億ドル(同7.2%減)となり、この結果、貿易収支は658.54億ドルの赤字(同30.1%赤字幅縮小)となった。
 (2) 1-10月の輸出額におけるEU向けの割合は41.7%(前年同期は41.4%)、輸入額におけるEUからの割合は32.2%(前年同期は28.9%)となっている。

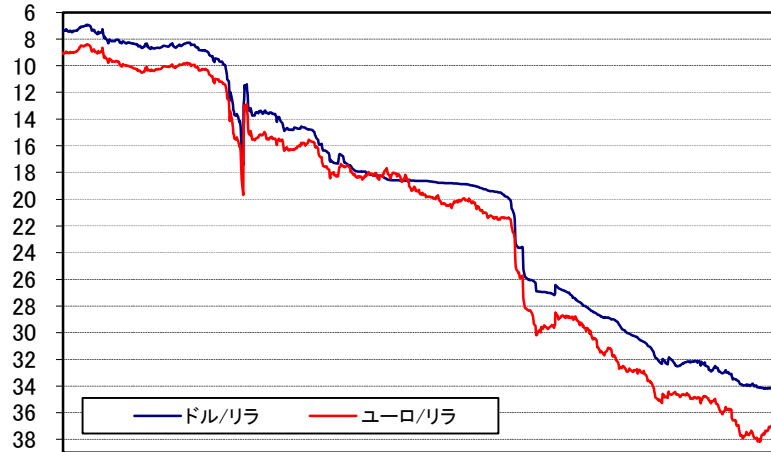
データ:統計局 単位:億ドル



為替(11月)

引き続き中東地域における地政学リスクが意識されているものの、対ドル・ユーロともにその水準について、先月から大きな変動は無し。月末時点では1ドル=34.58リラ(前月末比1.17%安)、1ユーロ=36.55リラ(同1.6%高)となった。

データ:中央銀行 単位:リラ

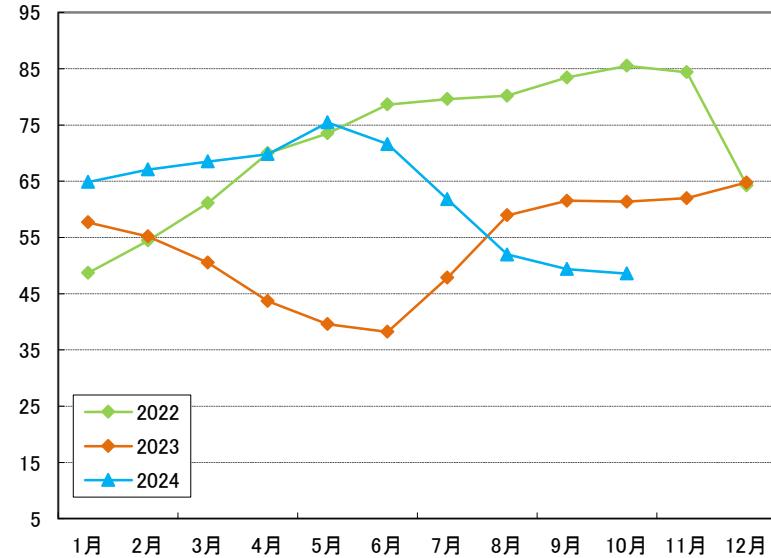


21/1 21/4 21/7 21/10 22/1 22/4 22/7 22/10 23/1 23/4 23/7 23/10 24/1 24/4 24/7 24/10

消費者物価上昇率(10月)

(1)10月の消費者物価は前年同月比48.58%増、前月比2.88%増。
(2)項目別にみると、前年同月比では教育が93.66%となり最も上昇した。前月比では衣類及び履物が14.32%となり最も上昇した。
(3)2024年末のインフレ率の中銀目標は前年同月比44%。
(4)国内生産者物価指数(10月)は前年同月比32.24%増、前月比1.29%増となった。

データ:統計庁 単位:前年同月比(%)

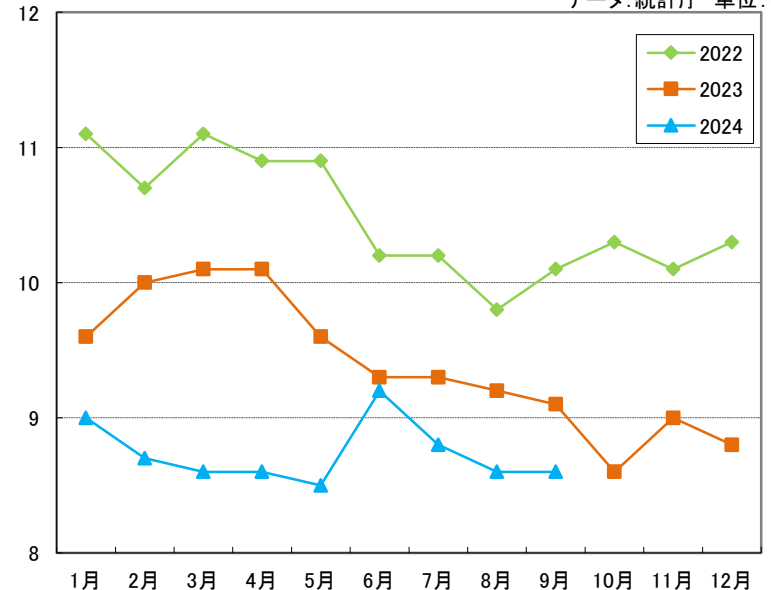


1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

失業率(9月)

(1)9月の失業率(季節調整後)は8.6%となり、前月から変化なし。
(2)労働力人口は3,592.3万人、就労者数は3,282.3万人、失業者数は310.0万人。
(3)男性の失業率は6.7%、女性は12.3%。若年層(15-24歳)の失業率は17.1%となっている。

データ:統計庁 単位:%

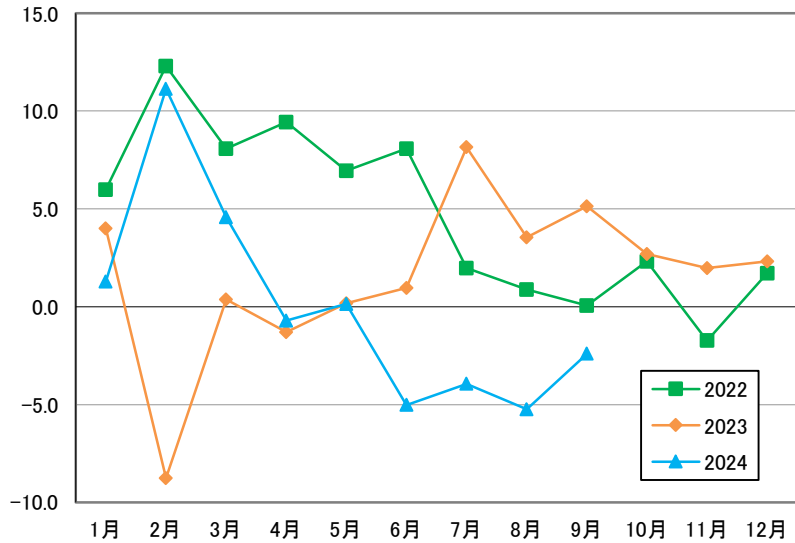


1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

鉱工業生産(9月)

(1)9月の鉱工業生産指数は、前年同月比(日数調整後)2.4%減。
 (2)分野別では、耐久消費財が前年同月比1.1%減、資本財が同6.3%減、中間財が同1.2%減となった。

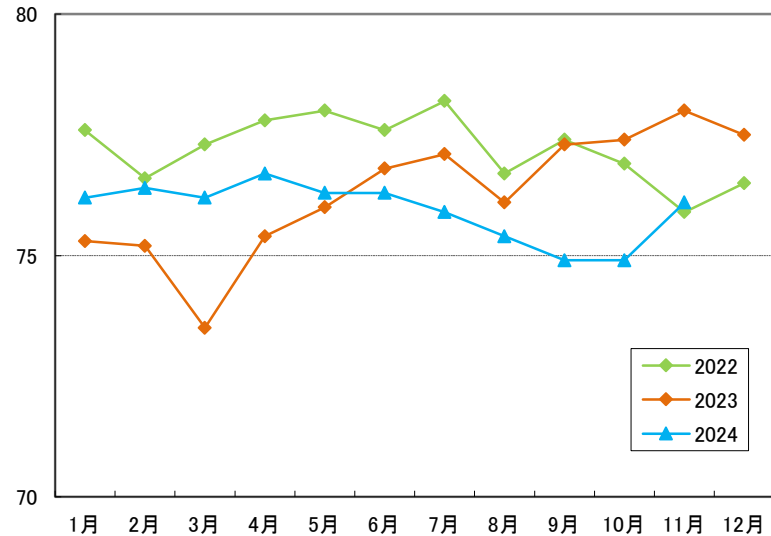
データ:中央銀行 単位:前年同月比(%)



設備稼働率(11月)

(1)11月の設備稼働率は76.1%となり、前年同月から1.9ポイント減少。前月からは1.2ポイント増加。
 (2)製造業の分野別では、紙及び紙製品製造業(84.3%)が最も稼働率が高く、皮革及び関連製品製造業(61.0%)が最も低い稼働率であった。

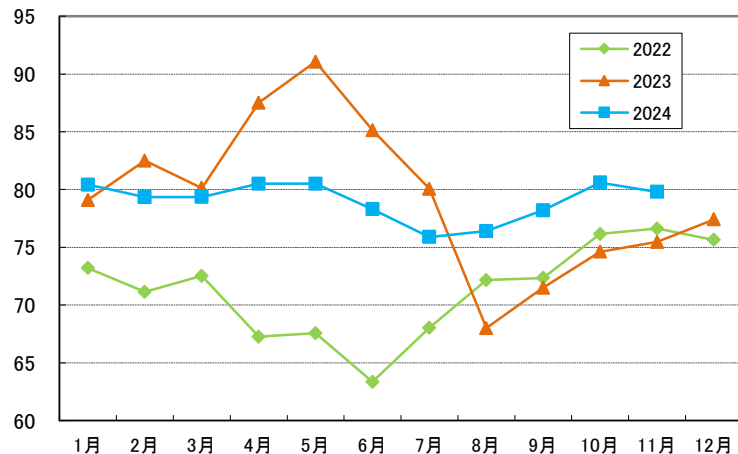
データ:中央銀行 単位:%



消費者信頼感指数(11月)

(1)11月の消費者信頼感指数(季節調整値)は79.8ポイントとなり、前月から0.8ポイント低下。
 (2)内訳では、「現在の家計の財政状況」は前月から上昇、「今後12か月間の家計の財政状況見通し」、「今後12か月間の一般経済状況見通し」及び「今後12か月間の耐久消費財への支出見通し」は前月から低下。

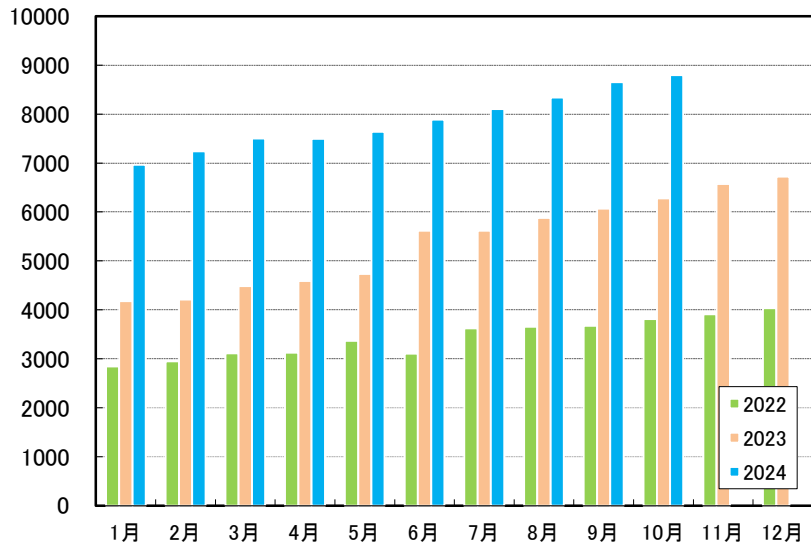
データ:統計庁 単位:ポイント



中央政府債務残高(10月)

(1) 10月末時点での中央政府債務残高は8兆7,957億リラとなり、前年同月比40.1%増、前月比1.7%増となった。
(2) また、国内債務比率は52.2%、自国通貨債務比率は42.2% (2023年末は35.8%) となっている。
(3) なお、債務残高のうち円は0.4%で、外貨ではドル、ユーロに次ぐ地位を占めている。

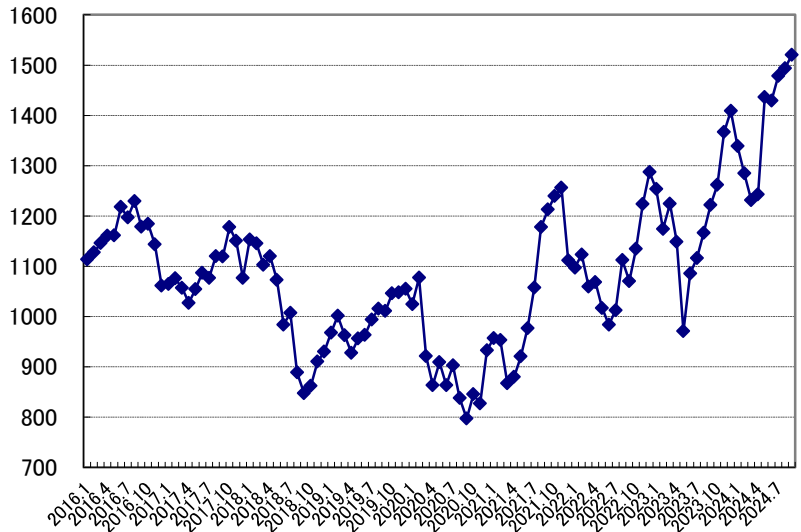
データ:財務省 単位:10億リラ



外貨準備高(10月)

(1) 10月末時点での中央銀行の外貨準備高(金を含む)は1,598.21億ドルとなった。
(2) 前月から775.4億ドル増加した。

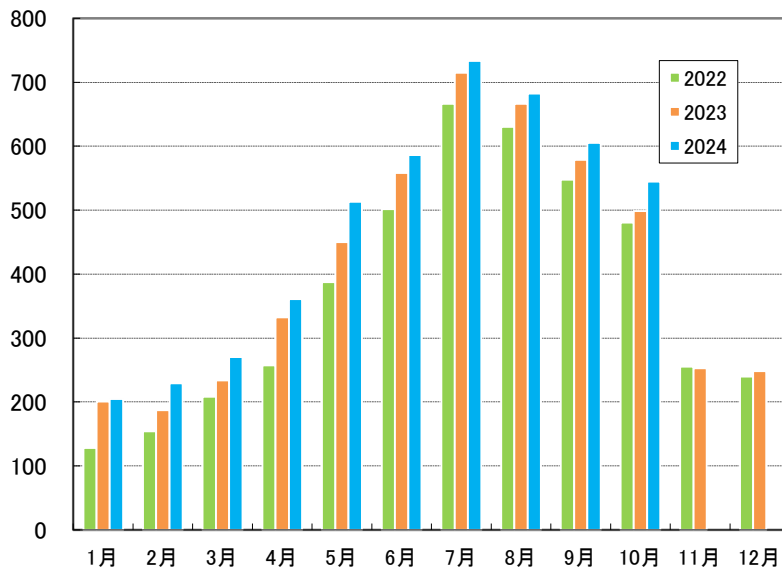
データ:中銀 単位:億ドル



外国人訪問者数(10月)

(1) 10月の外国人訪問者数は5,448,459人で、前年同月比9.25%増。日本は14,889人であった(前年同月は7,849人)。
(2) 国別ではドイツが最も多く、925,928人で全体の16.99%を占め、以下、ロシア(776,618人)、英国(530,586人)となっている。

データ:文化観光省 単位:万人

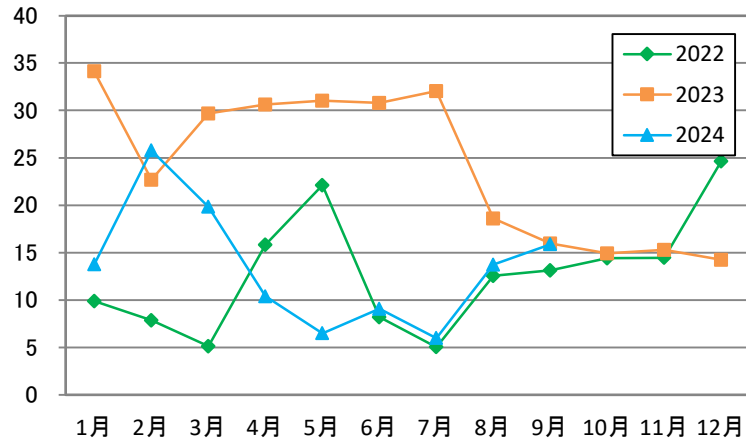


小売売上高(9月)

データ:統計庁 単位:前年同月比(%)

(1)9月の小売売上高は前年同月比(日数調整後)15.9%増、前月比(季節及び日数調整後)2.3%増。

(2)内訳は食品・飲料・タバコが前年同月比10.3%増、情報・通信機器が同40.1%増となった。

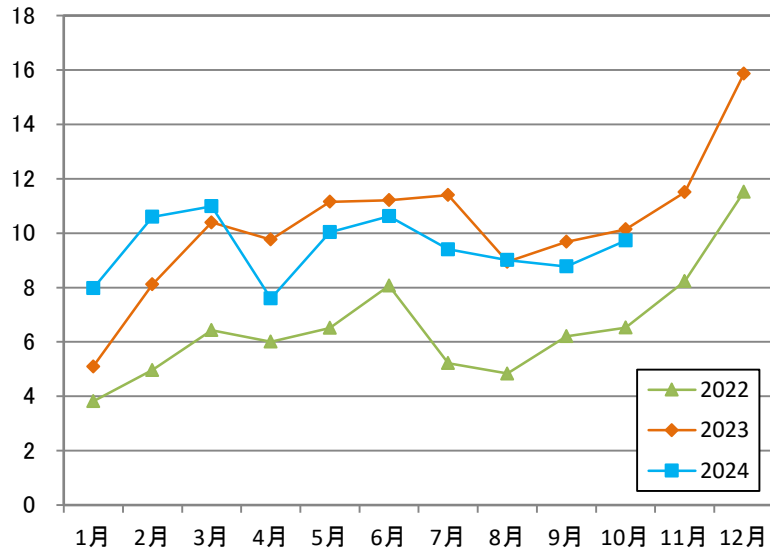


新車販売台数(10月)

データ:自動車販売協会 単位:万台

(1)10月の新車販売台数は97,274台で前年同月比4.04%減。

(2)10月の内訳は乗用車が75,662台(前年同月比8.4%減)、小型商用車が21,612台(同15.2%増)となった。



住宅販売戸数(10月)

データ:統計庁 単位:万戸

(1)10月の住宅販売戸数は165,138戸で前年同月比76.13%増となった。

(2)10月は新築が57,679戸(前年同月比97.3%増)、中古が107,459戸(同66.5%増)。

(3)10月の住宅ローンでの購入は21,095戸(前年同月比278.2%増)、その他が144,043戸(同63.3%増)。

